

事業所名 児童発達支援センター心愛つう 支援プログラム 作成日 2024年 9月 1日

法人（事業所）理念		ひなたぼっこの理念 私たちは人間性の尊重、療育支援の実践、社会参加の促進を目指します ◇子どもの発達の保障と自立支援を目指します ◇子どもの個性を尊重し、生き抜く力を育てます ◇子どもとの信頼関係の中で、安全と安心を保障します ◇子どもと家庭との絆を大切に、協力して支援に取り組みます ◇地域社会における多様なニーズに的確に対応した施設サービスを行います			
支援方針		児童発達支援：通所児が、個別や集団での生活・遊びを通して、運動面、精神面での発達を促し、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練等の支援を行います。 保育所等訪問支援 訪問支援員が、利用希望者の各施設へ訪問し、集団生活に適應することができるよう、本人、ならびに訪問先施設のスタッフに対する専門的な指導・訓練等の支援を行います。			
営業時間		営業時間 8時00分 ~ 17時00分	療育時間 9時30分 ~ 14時00分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容					
グループ		もくれん	かき	こぶし	きんかん
本人支援	健康・生活	持ち物の準備や片付け、排せつや衣類の着替え、食事等の日常生活動作について、通所児一人ひとりに合わせて支援をします。朝の会、帰りの会でなどで、今から何をするのかを提示し、目的意識を持って取り組める様支援をします。		持ち物の準備や片付け、排せつや衣類の着替え、食事等の日常生活動作について、通所児一人ひとりに合わせて具体的な支援、定着を図ります。朝の会、帰りの会でなどで、毎日のルーティンの活動で取組、今から何をするのかを提示し、声かけで促します。	
	運動・感覚	感覚統合の視点を取り入れた運動遊び（エアーマット、トランポリン、巧技台、はしご、ラダーなど）を行うことで、全身を動かし、様々な身体の動かし方に取り組めるように支援をします。 音楽（リズム・曲）に合わせて、リトミックやダンスを取り入れ、振り付け通りに踊ることや動きをすることができる様支援をします。			
	認知・行動	全体での指示を聞き取り、簡単なルールに沿って活動できるよう支援をする。また、様々な認知の課題に取り組ませ、記憶力、集中力、推論力、処理能力の向上に努める。		簡単な指示を聞き取り、行動に移せるように支援をする。通所児一人ひとりにそって、繰り返しの取り組みや興味・関心の高い教材を用意し、集中して取り組めるよう支援をしていく。	
	言語コミュニケーション	職員が相手への伝え方のモデル（モデリング）を示すことで、他者への伝わり方を知り、通所児が自発的に伝えていける力につなげていきます。		言葉と動作が結びつくように、通所児の動作に簡単な言葉を添えて伝え、場面にあった言葉の理解や表出につなげます。また、実物や絵カードを使って、言葉の理解や語彙数を増やします。	
	人間関係社会性	小集団の中で並行遊びや職員が介して行う連合的な遊びを通して、他児を意識できるよう、社会性の発達を支援します。生活や遊びの中で、身近な職員との関係性を基盤に「できた」等の思いを共有できるように支援をします。困った時など、自発的に発信ができるように支援をします。		自由遊びなど、職員など、大人が介入することで、他児と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように支援をします。生活や遊びの中で、できた時にハイタッチしたり、褒めたりして、相手を意識したり他者との関係性を作ったりすることを促します。	
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>成長・発達について心配事や家庭での子育てに関する困りごとに対する個別の相談対応や家庭訪問を実施します。</li> <li>保護者同士のつながりや情報交換、交流を深められるように保護者交流会や、先輩の保護者と語る会などの援助をします。</li> <li>健康管理の指導、発達検査、栄養指導、ペアレントプログラムの紹介など実施します。</li> </ul>			
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>保育所等の並行通園をおこなっている場合、園生活での通所児の観察に行ったり、園担当者に見学に来てもらったりし、支援にかかる情報理解を図ることで、障害特性を踏まえた一貫した支援に努めます。</li> <li>保健士、発達支援センター、医療機関等の関係機関との情報連携や調整などを行います。</li> </ul>			
移行支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>就園、就学などのライフステーの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた支援を行います。</li> <li>就学に向けての説明会の実施、発達検査の取り組み（年中児希望者）</li> <li>就園、就学の際には、これまでの支援の経過や通所児の発達状況等を通園所・通学校と情報共有し、引継ぎをすることで継続した支援ができるようにします。</li> </ul>			
職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> <li>内部講師（心理士、保育士、児童指導員など）の専門指導を受け、日々の療育での支援に生かします。</li> <li>地域での通所児の発達や支援へ関わる研修会へ参加をしていきます。</li> <li>発達支援に関わる、様々な専門性についての研修会への参加をしていきます。</li> </ul>			
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> <li>季節に合わせた制作活動・遊び ・季節に合わせた歌唱指導、ダンス ・エアーマット、巧技台などを用いた定期的な運動あそび ・夏期は水遊び ・土曜日活動での余暇支援</li> <li>音楽イベント（コンサート鑑賞） ・心愛・心愛つう合同運動会 ・すだちの会（年長児の卒園会） ・ペアレントプログラム（年2回）</li> </ul>			